

科目名	理学療法評価学実習Ⅱ【理学】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	古 後 晴 基						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必修（理学）
授業の概要 及びねらい	理学療法評価学Ⅰで学んだ総論と理学療法評価学Ⅱで学習した各種評価に関する理論と概要を踏まえ、各々の検査・測定の手技を習得させる。						
授業の 到達目標	1) 表在・深部感覚検査の臨床的意義を理解し手技を習得する。 2) 深部および病的反射検査の臨床的意義を理解し手技を習得する。 3) 協調性検査の臨床的意義を理解し手技を習得する。 4) 脳血管障害がいにおける運動機能の検査法を理解し実施できる。 5) 脳神経の診かたを理解し手技を習得する。 6) 総合的身体バランスの検査手技を理解し実施できる。 7) 整形外科的検査を理解し実施できる。 8) 簡便な歩行能力の検査法を理解し実施できる。 9) 日常生活活動に対する代表的な尺度を理解し、実践応用できる。 10) 姿勢や動作について、質的観察を通じた分析と解釈が出来るようになる。						
学習方法	実習（原則として白衣着用ですが、必要に応じてTシャツ・短パンなどを使用することもあります。）						
テキスト及 び参考書等	テキスト：理学療法評価学（金原出版）・ベッドサイドの神経の診かた（南山堂）						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎			◎		80	
小テスト等							
宿題・授業外レポート				○		5	
授業態度				◎	○	5	
受講者の発表							
授業への参加度				◎	○	10	
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	感覚検査①						
第 2 週	感覚検査②						
第 3 週	感覚検査③						
第 4 週	反射検査①						
第 5 週	反射検査②						
第 6 週	反射検査③						
第 7 週	筋トーン検査①						
第 8 週	筋トーン検査②						
第 9 週	運動失調症検査①						
第 10 週	運動失調症検査②						
第 11 週	片麻痺運動機能検査						
第 12 週	軽い片麻痺の機能検査						
第 13 週	脳神経の診かた						
第 14 週	脳神経検査①						
第 15 週	脳神経検査②						
第 16 週	脳神経検査③						
第 17 週	整形外科的検査①						
第 18 週	整形外科的検査②						
第 19 週	整形外科的検査③						
第 20 週	高次脳機能検査						
第 21 週	日常生活活動（ADL）検査						
第 22 週	姿勢分析						
第 23 週	動作分析						
第 24 週	試験						
備考	学生同士で実習を行います。 各手技では、解剖学および運動学の知識が必要になります。授業の前には必ず復習しておいてください。						